

(平成 31 年 1 月試験研究業務月報)

試験研究課題：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

情 報

ナシ黒斑病のせん定枝による越冬状況調査

京のブランド産品「京たngo梨」の一品種である「二十世紀」は、黒斑病に対して耐病性が低いため、葉や果実が黒く変色し、果実の商品価値が低下することが問題となっています。本病原菌は、枝や枯死した芽で越冬し、春になると胞子が飛散し、高温多湿となる 6、7 月には病状が進展することにより、落葉、裂果、落果を引き起こすため、春以降のこまめな防除が必要となります。

そこで、当センターでは、冬期に生産者のナシ園からせん定枝を採取し、病斑及び病芽の調査を行っています。それらのデータと気象予報等を基に、今春の本病の発生量を予測し、防除資料として生産現場へ情報提供を行います。



「二十世紀」ナシ園でのせん定枝採取作業

枝の病斑

葉の病斑